

豊川自治会コミュニティタイムライン ～ 第2回 住民防災ワークショップ ～

R6. 12. 8

洪水災害に備え、いつ・どのように避難するかを地域で話し合う場として、豊川自治会のみなさまを対象とし、住民防災ワークショップ(勉強会)を開催しました。

第2回は、コミュニティタイムラインと併せて活用することで効果的なマイ・タイムラインや、避難の際に役立つ情報である「河川水位情報」について説明を行い理解を深めた後、地域の避難ルールや自主防災組織の役割分担についての確認や意見交換を行いました。意見交換の結果を踏まえ、水害警戒時の防災行動を具体的に整理するコミュニティタイムラインの作成に取りかかりました。

開催概要

日 時：12月8日(日) 10時00分～12時00分

場 所：豊川生活会館

参 加 者：14名(豊川自治会住民、社会福祉協議会、厚真消防団、民生委員の皆様)

実施内容：(1)前回のふりかえり
(2)地域の避難ルールを話し合おう
(3)自主防災組織について考えよう
(4)コミュニティタイムラインを作成しよう



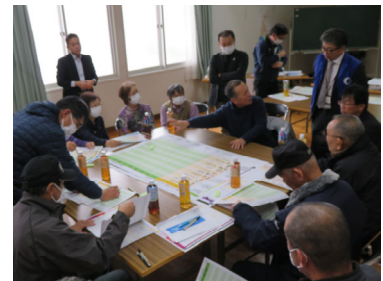
会場の様子

■地域の避難ルール

避難の開始は大雨が降る前に行うことや、豊川生活館は一時避難所(集合場所)として活用することなど、7つの避難ルールについて確認しました。

■自主防災組織の防災行動・役割分担

水害時に地域で行う共助(防災行動および役割分担)について話し合いました。それぞれの防災行動について、担当者(誰が行うのか)や実施時期(いつ行うのか)を話し合い、整理しました。



ワークショップの様子

水害時における地域(自主防災組織)の役割分担

状況イメージ	水害時に地域でやることの例	やる：○ やらない：×	会長	農事 組合長	自治会班長 (1班～4班)
【数日～3日前】台風が発生し日本に近づく	防災情報の収集	○	○	○	
	役員への連絡・調整	○	○		
【1～2日目】台風が近づき雨や風がだんだん強くなる	防災資機材・備蓄品の点検	△ (平時に実施)			
	要支援者名簿の確認	○	○		
【半日～数時間前】雨や風がさらに強くなる川の水がだんだん増えてくる	要支援者へ避難の呼びかけ	○	○		○
	要支援者の避難支援	○			○
【数時間前～】台風が近づき雨や風が非常に強くなる道路が冠水する川の水があふれそうになる	被害状況の収集・町への報告	○	○	○	
	避難状況の把握・町への報告	○			○
【災害発生】川の水があふれ堤防が決壊する土砂災害が発生する					



田中自治会長

能登のような災害が起こらないとも限らない。皆さんの意見をたくさん聞いて、災害対策に役立つ良いタイムラインを作っていきたい。



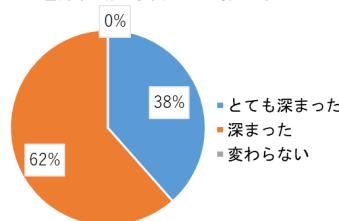
厚真町総務課 小山参事

タイムラインを作成する過程において、地域の皆様からいただいた意見を反映させていくことが一番の重要な要素であると思っている。

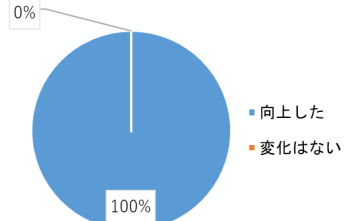
■アンケート結果

- 地域の特徴を踏まえた計画・実行性について考えることができた
- 前回より参加人数が増えたことや多くの意見が出されたことがよかった
- ワークショップでは参加者から色々な意見が出て非常に良かった

避難行動に関する理解の深まり



防災に対する意識の変化



【問い合わせ先】

厚真町 総務課 情報防災グループ
北海道勇払郡厚真町京町120番地
TEL:0145-27-2481



北海道開発局 室蘭開発建設部治水課
北海道室蘭市入江町1番地14
TEL:0143-25-7045

